

購読申込書

民主文学購読費

月額 970円送料込み

月 日

いずれかに○印をつけてください

「さくらの雲」連載中のみ購読する

一月号より定期購読する

電話番号

ご住所

お名前

日本民主主義文学会 FAX番号03(5940)6339

★左の用紙を切り取って、FAXあるいは郵送でお申込ください。雑誌は直接自宅にお送りします。

# 民主文学

いちばん身近な文芸誌

毎月8日発売

1月号より新連載スタート

編集・発売 日本民主主義文学会

TEL 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-29-9 サンレックス202号



## リストラの嵐のなか、女性はどう生きるか



最上 裕氏

最上裕 (もがみ・ゆう)

- ・1954年 香川県生まれ。
- ・電機産業でシステムエンジニアなどの仕事に38年間勤務。
- ・日本民主主義文学会会員。
- ・電機労働者ペンの会所属、支部誌「からむす」編集長。
- ・主な作品  
「記念樹に向かい」 「陸橋を渡る足音」 「陸橋に降る雨」

### 筆者のことば

職場の同僚に、すごく上昇志向の強い女性のシステムエンジニアがいた。業務の改善を積極的に提案し、残業や休日出勤も男性に負けずにこなしていた。

昨今、女性の活躍が声高に叫ばれているが、女性を取り巻く労働・社会環境は厳しいままだ。旧来からの差別的な因習が根強くのこり、家事・育児を強いられながら、成果主義で仕事でも会社にも貢献する成果を求められる。

同僚の女性にも非情なリストラが容赦なく襲い掛かってきた。渦に巻き込まれ、どちらの方向に進むべきか悩み迷う。自分のキャリアを生かす道と未来に続く道が異なる時、彼女はどちらの道を選択するのだろうか。

■この機会に、『民主文学』をぜひ購読ください■

大学で情報工学を専攻していた「さくら」は、就職氷河期の真ただ中、東光情報システムに入社した。女性が働きやすい制度があるということも就職先を選ぶ動機になった。システムエンジニアとして働き、開発チームのリーダーも任されるようになって。月百五十時間の残業というハードな勤務でも、システムが完成したときの達成感は格別だった。

「さくら」は、プロジェクトのメンバーの一人だった今泉弘樹と結婚し、娘の千恵も生まれる。二年間の育児休業を経て復職した時、職場は激変していた。

魅力の新連載小説◆◆最上裕◆◆

# さくらの雲

■ 育児休業明けで復職した会社は、アメリカの企業と合併していた。 ■